

おじやま
しますん

中国語に人生との接点を感じて

中国語 通訳・翻訳 及川 佳織さん(57) Ⅱ南区



「いま、仲間と初心者向けの中国語ガイドを企画中なんです」と笑顔で話す及川佳織さん

きっかけは20代のころ。「体を動かしたくて始めた太極拳の講師が中国人だったので、少しでも話せるよ

うになっただらいいなど、語学を始めたんです。太極拳を介したせいか、中国語は自分の人生と接点があるよ

うに思えて、ハマったというか続きましたね」

前を連ねています。中国語をさらに極めるきっかけとなったのが、北海道出身の夫のUターンでした。札幌への転居を機に大学院に入学。教授の勧めもあって、中国に1年間留学もします。

上昇志向は語学にとどまらず太極拳にも発揮されま

す。「日本での太極拳の競技名は武術太極拳と言って、相手と格闘して勝負を決めるものと、一定の動作を単独で演武してその技術水準を評価するものがあるんです」。太極拳を実践するかわら、指導員や審判員の資格も取得。日本の国際審判員6人の1人に名

ターニングポイントは、卒業後の初仕事。「日中の大学の先生(中国側から11人、日本から9人)によるディスカッションを1人で通訳した時のこと。専門

用語が飛び交い、休憩時間にもホワイトボードで話し続けるし、熱を帯びてきて予定の2時間を過ぎても終わらない。閉会して立ち上がったら目の前が真っ暗(笑)。この時、私、通訳でやっていける」と確信しましたね。この天真らんまんさ。中国に通じる何かがありそうです。(ライター・まつかわえみこ)

ターニングポイントは、卒業後の初仕事。「日中の大学の先生(中国側から11人、日本から9人)によるディスカッションを1人で通訳した時のこと。専門

用語が飛び交い、休憩時間にもホワイトボードで話し続けるし、熱を帯びてきて予定の2時間を過ぎても終わらない。閉会して立ち上がったら目の前が真っ暗(笑)。この時、私、通訳でやっていける」と確信しましたね。この天真らんまんさ。中国に通じる何かがありそうです。(ライター・まつかわえみこ)

おいかわ・かおり
1959年東京都生まれ。北海道文教大学大学院修了。中国語通訳・翻訳。高校・大学の中国語講師。国際武術太極拳連盟公認A級審判員。理解ある夫と2人暮らし